

2017年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第1回 受賞作

大賞

カバンには
パソコンスマホ
紙おむつ
なおみん(42歳女性/神奈川県)



パパ目線賞

ワンオペで
家事が回る日
神つてる
兼業主夫(37歳男性/東京都)



ママ目線賞

ないのかな
家事の
労働基準法
産休中(39歳女性/埼玉県)



おむつ替え
プレゼンよりも
汗が出る
新婚さん(36歳男性/大阪府)



すべりこむ
会社に園に
お布団に
煮え湯(39歳女性/京都府)



パパ育児
一度は試す
父の乳
パパシー(30歳男性/福岡県)



欲しいのは
子供と主婦を
もう1人
バタパタママ(34歳女性/大阪府)



優秀賞

- ◆ 育休をとれば不倫を疑われ 上の空(56歳・男性/京都府)
- ◆ 築地もかうちの娘も決まらない オンマー(36歳・女性/兵庫県)
- ◆ 初トイレ あんよも全て 保育園 家事リーマン(41歳・男性/埼玉県)
- ◆ ひと休みしたいと願い 5年経つ キーさん(34歳・女性/東京都)
- ◆ ただいまと聞いた瞬間 ギュッとハグ ココナツ(13歳・女性/東京都)
- ◆ おべんとう なぜか僕まで 離乳食 コトノシン(31歳・女性/三重県)
- ◆ 駅に着き 深呼吸して ママになる そらそらお(51歳・女性/千葉県)
- ◆ 上司より呼び出し多い 保育園 たっちゅんママ(24歳・女性/京都府)
- ◆ ウイルスが縁で三人 水入らず はますだれ(55歳・男性/神奈川県)
- ◆ のっけ弁 超多忙の日の 母分る 野球少年(14歳・男性/三重県)

応募の傾向

「オリックス 働くパパママ川柳」がスタートした2017年は、「育児・介護休業法」が改正されるなど、仕事と子育ての両立に向けて国が本格的に支援に乗り出したタイミングでした。人口減少時代において、持続可能で安心できる社会を作るためには、「就労」と「結婚・出産・子育て」の二者択一の構造を解消することが必要とされ、まずは働くママの労働環境を整えることに注力されました。その中で働きながらの子育てに奮闘するママの実態を表した大賞受賞作品「カバンには パソコンスマホ 紙おむつ」など、川柳を通して働くママの現実が浮き彫りになりました。

2018年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第2回 受賞作

大賞

ワンオペも
逆手に取れば
ひとりじめ
トミママ(28歳・女性/埼玉県)



パパ目線賞

こわいもの
地震かみなり
火事夜泣き
おにちよふ(31歳男性/東京都)



パパ子守
子ども泣き止む
ユーチューブ
かいと(36歳男性/大阪府)



ほろ酔いの
帰路にキヨシで
紙おむつ
札幌(29歳男性/北海道)



ママ目線賞

登園時
お別れのギュー
ギアチェンジ
せむ(30歳女性/千葉県)



よく噛んで!!
そう言う母は
流し込む
ひろこちゃん(35歳女性/大阪府)



ありがとう
いつも元気な
婆婆ルンバ
森野琴梨(49歳女性/宮城県)



子ども目線賞

だいじょうぶ
ねえねは小さい
ママだから♡
歩未ねえね(11歳女性/岡山県)



- ◆ 電チャリとスマホアマゾン 救世主
イクメン風パパ(40歳・男性/東京都)
- ◆ 出張中 スカイプ越しに寝かしつけ
いつもいっぱいいっぱい(37歳・女性/京都府)
- ◆ 究極の 裁量労働 ママ稼業
乙女座のA(67歳・男性/千葉県)
- ◆ 帰り道 妻はLINEでこき使う
ケンジ(41歳・男性/愛知県)
- ◆ リアル家事 インスタ映えに程遠い
だいちゃんZ!(42歳・男性/大阪府)
- ◆ 公園は ライバルばかり 保活中
隊長(35歳・女性/神奈川県)
- ◆ 「じ」と打てば「時短」「時給」と出るスマホ
まさしお(35歳・女性/東京都)
- ◆ 昼休み クックパッドとにらめっこ
まめこ(35歳・女性/埼玉県)
- ◆ 「家事するよ」今日は私が 母の母
ゆきんこ(16歳・女性/東京都)
- ◆ 5時起きと7時起きとの 格差婚
りりりの母ちゃん(46歳・女性/福岡県)

応募の傾向

2018年は、6月に「働き方改革関連法」が成立するなど、ワークライフバランスへの注目度がさらに高まり、「仕事」と「子育て」の両立に向けた職場環境の整備が社会的な課題として捉えられたタイミングでした。
そうした社会の流れの影響を受けて、第2回からはパパの育児への参加意思が感じられる句が増えてきました。「ほろ酔いの 帰路にキヨシで 紙おむつ」「パパ子守 子ども泣き止む ユーチューブ」など、パパの日常の中に「子育て」が組み込まれ、バタバタとしながらも育児に奮闘しているシーンを描写した句が多数寄せられるようになりました。

2019年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第3回 受賞作

大賞

10連休
預け先無し
金も無し
みんなママ(36歳・女性/長崎県)



パパ目線賞

お尻拭き
社では上司の
尻拭い
SKかびさん(38歳男性/神奈川県)



テレワーク
親子で参加
Web会議
さすけ(40歳男性/東京都)



こどもたち
パパで遊んで
ママで寝る
だんな(31歳男性/神奈川県)



お年玉
買いたいものは
パパの時間
姫(9歳女性/東京都)



- ◆アロマより癒されるのは子の匂い
怪傑もぐり33世(48歳・男性/神奈川県)
- ◆インフルよ せめてママだけ 避けてくれ
こうちゃんかいくん(42歳・女性/千葉県)
- ◆「起きなさい!」子に言う振りで 実はパパ
しょこちん(27歳・女性/愛知県)
- ◆静けさや やっと眠った 天使撮る
パパバ(36歳・男性/神奈川県)
- ◆100年を 孫とローンと 同居する
春爺(77歳・男性/静岡県)
- ◆たまにはね 家事の有休 使いたい
ヒリー(28歳・女性/神奈川県)
- ◆ポイポイと 靴落とす君 シンデレラ
ママ鉄(30歳・女性/大阪府)
- ◆孫育て 昭和の知恵も 遠くなり
ミーコばあ(78歳・女性/岩手県)
- ◆5年生 ぼくもはたらく かぞくです
ユウキ(11歳・男性/福岡県)
- ◆お疲れさま AIだけが 誉めてくれ
レインボーパパ(46歳・男性/和歌山県)

ママ目線賞

繁忙期
麺・麺・井・井・
麺・井・井
高知ぜよ(40歳女性/高知県)



育休を
取った旦那に
手が掛かる
てんとうむし(35歳女性/東京都)



「ママ元気?」
AIしのご
感知力
とるまりん(30歳女性/新潟県)



いだてんか
保育所向かう
嫁の足
セイチャン(70歳女性/大阪府)



応募の傾向

2019年は新型コロナウイルス感染症の流行前でしたが、テクノロジーの導入による仕事の効率化が企業に求められるようになり、「AI」や「テレワーク」をテーマとした句が寄せられました。また2019年のGWは10連休で、多くの保育園は休みとなり、預け先がなくなる不安をよんだ「10連休 預け先無し 金も無し」が大賞に選ばれるなど、子どもの預け先に困る家庭の悲哀を表現した句も見られました。こうした状況や「じいじばあば目線賞」新設の影響から、働きながらの子育てに親世代だけでなく祖父母世代も関わりながら取り組む様子をよむ句の応募が増えました。

2020年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第4回 受賞作

大賞

イクメンは
名もなき家事が
できてから

パコラ(36歳・女性/千葉県)

パパ目線賞

マスクでも
漏れて防げぬ
妻の愚痴

カンガルー西川(42歳男性/神奈川県)

育休も
三回目には
そっと出し
つるたさん(56歳男性/東京都)

テレワーク
タスクかかえて
子もかかえ

ドライビングパパ(24歳男性/千葉県)

熱の日は
ママといっしょに
いられる日

リンリン(10歳女性/静岡県)

- 優秀賞**
- ◆ 職歴に 育児評価を 加点して
あきクマ(44歳・女性/神奈川県)
 - ◆ 子を抱え 暑さ寒さも モールまで
有朋(80歳・男性/千葉県)
 - ◆ 4回転 母はとっくに フル回転
紀平はは(41歳・女性/東京都)
 - ◆ 嫌じゃない 父がつくった なぞ料理
ねこむすめ(16歳・女性/東京都)
 - ◆ 増税を 前にオムツの 大人買い
ほりたん(46歳・男性/福島県)
 - ◆ 「俺が看る」寝落ちの夫に 毛布かけ
まなみ(43歳・女性/東京都)
 - ◆ 晩ごはん 考えながら 昼ごはん
ママ強士(26歳・女性/山口県)
 - ◆ プリントが 朝に出てくる ランドセル
ももママ(38歳・女性/千葉県)
 - ◆ いつもより せまい川幅 冬の朝
やまちゃん(33歳・男性/東京都)
 - ◆ ツイッターの 前にわたしを フォローして
よしえ(44歳・女性/愛媛県)

ママ目線賞

Uberで
届けてほしい
離乳食

おねちよふ(31歳女性/東京都)

オフロード
パスさながらに
子を預け

ラケビーママ(59歳女性/大阪府)

パプリカに
夢中なうちに
飯作る

レモネードママ(26歳女性/愛知県)

じいじばあば目線賞

預かった
孫には甘い
じいじペイ

むかしママ(56歳女性/山形県)

応募の傾向

新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2020年に行われた第4回以降、コロナ禍で需要が増えた「テレワーク」「マスク」「Uber」といった言葉を使った句が増加しました。また、パパの育児参加の機運がさらに高まる中で、「料理」、「洗濯」、「掃除」のように名前がついている家事以外の「名もなき家事」への注目が集まり、パパのさらなる家事分担への期待をよむ句が大賞を受賞しました。

2021年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第5回 受賞作

大賞

テレワーク
九九の呼吸が
漏れ聞こえ
西灘こ(49歳男性/兵庫県)



パパ目線賞

テレワーク
ママより仕事
楽と知る
Wing(34歳男性/長野県)

パソコンも
子もフリーズの
イヤイヤ期
夏舟(39歳男性/熊本県)

聖火より
我が家は育児
リレーをし
雪丸太郎(48歳男性/熊本県)

ママ目線賞

誰の声?
息子よそれは
部長です
お麩(30歳女性/神奈川県)

アルコール
飲まず手に塗り
君をハグ
梅雨ウマレ(31歳女性/埼玉県)

居間は今
教室オフィス
保育園
MAPA(39歳女性/東京都)

子ども目線賞

パパがいて
ママの仕事が
ふえている
あんこ(10歳女性/兵庫県)

じいばあば目線賞

コロナでも
リモートできぬ
孫の守り
とうやのばあば(59歳女性/三重県)

優秀賞

- ◆孫会う日 爺のマスクは 炭治郎
ルーク(59歳・女性/東京都)
- ◆子供らに 布団取られて ソロキャンプ
在宅まごん(36歳・女性/東京都)
- ◆「おかえり」と 駆け寄るパパは 除菌中
咲くパパ(30歳・男性/栃木県)
- ◆さりげなく 孫自慢する テレワーク
白房(60歳・男性/大阪府)
- ◆オンライン 画面の下は 秘密基地
働くママ(43歳・女性/東京都)
- ◆俺ゆとり 親父はバブル 子はコロナ
おとう(42歳・男性/東京都)
- ◆マスクして 朝の5分を 手に入れた
三児のママ(36歳・女性/大阪府)
- ◆コロナ禍で ママ友ゼロの 初育児
孤育て中(44歳・女性/東京都)
- ◆そのペンが やめて我が家の バンクシー
寝不足ママ(34歳・女性/千葉県)
- ◆会社では 守った首も 子に斬られ
エリー子(56歳・女性/神奈川県)

応募の傾向

過去、働くパパママ川柳の大賞受賞者はいずれも女性でしたが、2021年に行われた第5回は、初めて男性が受賞することになりました。男性からの応募数も過去最多となったことから、コロナ禍におけるテレワークの普及によりパパが家庭で過ごす時間が増え、男性の育児参画の機運がますます増したことが伺える年となりました。また、在宅勤務が日常となる中で、仕事と育児に日々奮闘するパパママの葛藤を表現した「居間は今 教室オフィス 保育園」や「テレワーク 九九の呼吸が 漏れ聞こえ」などの句が多数寄せられました。

2022年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第6回 受賞作

大賞

毎食が
SDGs
子の残り
要冷蔵(24歳・女性/福岡県)



パパママ目線賞

聞く力
おしゃべり娘に
鍛えられ



テレワーク
こっそり覗く
リトルボス



コロナ禍で
増えたミッション
多すぎる



恋をする
きつかけさえも
なくされる



じいじばあば目線賞

ミュートして
家事に舵切る
会議中



育休で
心のへその緒
できたパパ



副反応
妻と娘は
無反応



手に負えぬ
孫は寝顔で
恩返し



優秀賞

子ども目線賞

- ◆手は出さず 口出す夫 うっせえわ
甘えん坊將軍(36歳・男性/静岡県)
- ◆ウーバーで 持続可能な ママの家事
おゆみ(37歳・女性/埼玉県)
- ◆キャパ超えた ママにもギガを 追加して!
香のん(57歳・女性/東京都)
- ◆いつの間に 小さなママの レシピ増え
玉犬(母)(41歳・女性/千葉県)
- ◆子がお菓子 こっそりくれる テレワーク
クマオヤジ(45歳・男性/山口県)
- ◆第2波で 産まれた我が子 5波で立つ
こぶじーさん(35歳・男性/愛知県)
- ◆働いた! 金メダルより 金曜日
ちっぴー(37歳・女性/埼玉県)
- ◆ママ友の マウント決まる パパの家事
ひろP(50歳・女性/神奈川県)
- ◆みなマスク はぐれる息子 ママ探し
りゅうママ(35歳・女性/岩手県)
- ◆「高い高い」じいじパソコン 持ち上げる
リリー&ロージー(61歳・男性/神奈川県)

応募の傾向

男性の育休取得促進を目的とした「育児・介護休業法」の改正が注目を集め、男性育休をテーマにした句が増加しました。その中でよまれた「育休で心のへその緒 できたパパ」や、じいじばあばがより深く育児に参加する姿をよんだ「手に負えぬ 孫は寝顔で 恩返し」など、働き方と育児の形態の多様化が感じられる句が多数寄せられたことも特徴的です。また、家庭にも認知が進んできた「SDGs」をテーマとした句が大賞を受賞したことから、社会の流れが感じられました。

見守る目線賞

団塊が
少子世代の
見守り隊
健忘老(84歳男性)



いいじばあば目線賞

ベビーカーを
操っている
返納後
牛美(85歳男性)



子ども目線賞

スマホより
もっとわたしを
見てほしい
ディテクティブコナン(9歳女性)



パパママ目線賞

パパ育児
リスキリングは
家事スキル
椎名(3歳と0歳のパパ)(30歳男性)



仕事場で
一人称が
『ママ』になり
ひろみち(37歳女性)



朝タイパ
お昼弁当
夜コスパ
ビジーママ(41歳女性)



2023年

主催:オリックスグループ 後援:朝日新聞社

五・七・五でよむ、仕事と子育て!

働くパパママ川柳

第7回 受賞作

大賞

家事仕事
二刀流だし
二倍速
ルーキー(42歳男性)



優秀賞

退勤し
10秒後には
米を研ぐ
ママファイター(36歳女性)



「ママがいい」
大谷ルール?
休みなし
万年秋(28歳女性)



ミトマより
ギリギリつなぐ
家事・育児
ミッドフィルダー(41歳男性)



- ◆ スーツ着て子乗せ自転車みな仲間
尼崎みかん(30歳女性)
- ◆ 仕事したパパの匂いはかっこいい
あやちゃん(6歳女性)
- ◆ LINE来るパパのワンオへ報連相
あんこ(34歳女性)
- ◆ 戦友と交わす盃就寝後
限界かーちゃん(29歳女性)
- ◆ 読めない字聞かれて困る見えない字
さとみばあば(65歳女性)
- ◆ 「倍速で」子供は動画母は家事
すー(28歳女性)
- ◆ 上司の子待ち受けで知る急成長
パパ年目26歳男性
- ◆ ママ帰るまでママになるママのママ
ぼくくん(69歳男性)
- ◆ バリキヤリかゆるキヤリしかない女性像
マミー(35歳女性)
- ◆ 定年を待っていたのは孫と嫁
まめさん(65歳女性)

応募の傾向

5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、社会が活気を取り戻し始めた2023年。大賞には、日本人アスリートの活躍を通して話題になったキーワード「二刀流」を用いた作品が選ばれました。また、「テレワーク」が日常に定着した様子を表現した作品や、「リスキリング」「タイパ」などの新たなキーワードを用いた作品も多く寄せられました。コロナ禍を経て、男性が日常生活において、主体的に家事を担う様子が見受けられる句が増えてきたことも特徴です。